



プロジェクト名称

candle night

プロジェクト活動概要

現代の人は仕事などで忙しい毎日を送っています。そこで、夏至と冬至の夜の2時間だけでんきを消して人々にスローな夜を提供しようと活動を行っております。

2011年は東日本大震災が起こったことにより、日本のエネルギー問題が露わになりました。これを機に人々にでんきの明るさだけに頼るのではなく、ろうそくの明かりの大切さと脱・原子力運動を知り、省エネやエコについての考えを増やしてほしいと願っています。

夏至には芝浦工業大学大宮キャンパスで、冬至にはアトレ川崎でキャンドルナイトを行っており、また、地域交流として地域の方々にワークショップを開き、ろうそくの身近さを知っていただく機会を設けます。

目次

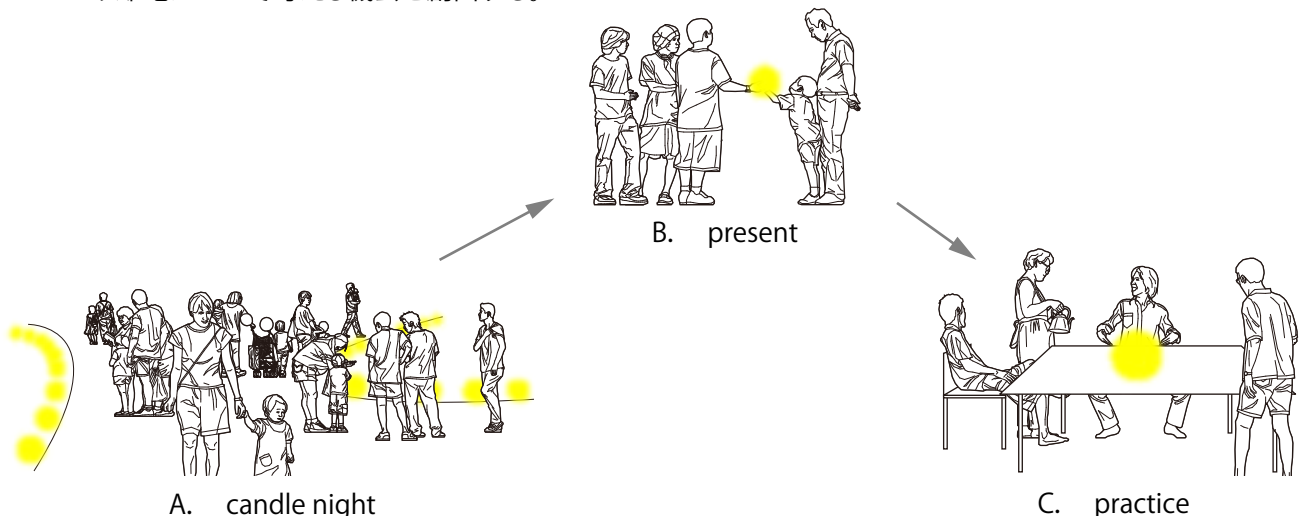
6月	candle night@omiya campus2014	・・・ 1
7月	—	
8月	candle night@ageo	・・・・・・・ 2
	上尾市原市団地納涼祭	・・・・・・・ 3

活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2014年6月1日～9月30日

■candle nightの活動コンセプトフロー

- A. candle nightに足を運んでいただき、作品に触れることで、火の良さを知って頂く。
↓
- B. アンケートに答えていただき、キャンドルをプレゼント。
↓
- C. 帰宅後、家で、でんきを消してスローな夜を体験して頂く。

上記の矢印流れで、キャンドルを持ち帰って頂き、実際に家で灯すことによって、家族と火の良さを分かち合い、エコや節電について考える機会を創出する。





1. candle night@omiya campus2014

■実施日時:2014年6月20日(金) 19:30~21:00

■実施場所:芝浦工業大学大宮校舎

■テーマ:宇宙(そら)

■目的

でんきの明るさだけに頼るのではなく、ろうそくの明かりの大切さを知り、省エネやエコについて考える機会を増やす。

<インスタレーション> ~夏至~

■目的

空間演出によって火の良さを体感して頂き、省エネやエコについて考え直して頂く。

■イベント当日の状況

イベント事態は、突然の雨により途中中断となった。

全体は、大きく分けて“地上・宇宙・異次元・動線”の4つのインスタレーションに分かれている。

- “地上”では、「そらから見た地球」を表現し、いつも見ている風景から、少し視点を変えてどれだけ私たちが灯りを使っているかを表現した。(作品名:空から見た地球)
- “宇宙”では、でんきを消すことで見えてくる、そらの明るさに気付いて頂くことを目的とし、惑星や銀河をろうそくや瓶の配置によって表現した。(作品名:PLANET-2014,プラネットカラー,スターダスト,ユニバース)
- “異次元”では、宇宙と地上を様々な角度から見て頂くため、莫塵を敷き、アイラインよりも低い高さで楽しんで頂いた。また、フィルムのついた眼鏡をかけて頂き、揺れ動く火とそれを拡散した光を楽しんで頂いた。
- “動線”では、日常・非日常であるこの一瞬・そらをつなぐおもいを表現した。(作品名:生・瞬・天)

このように、様々なコンセプトの作品を用いることで、来場して下さった皆様に、“火の良さ”を知って頂いた。





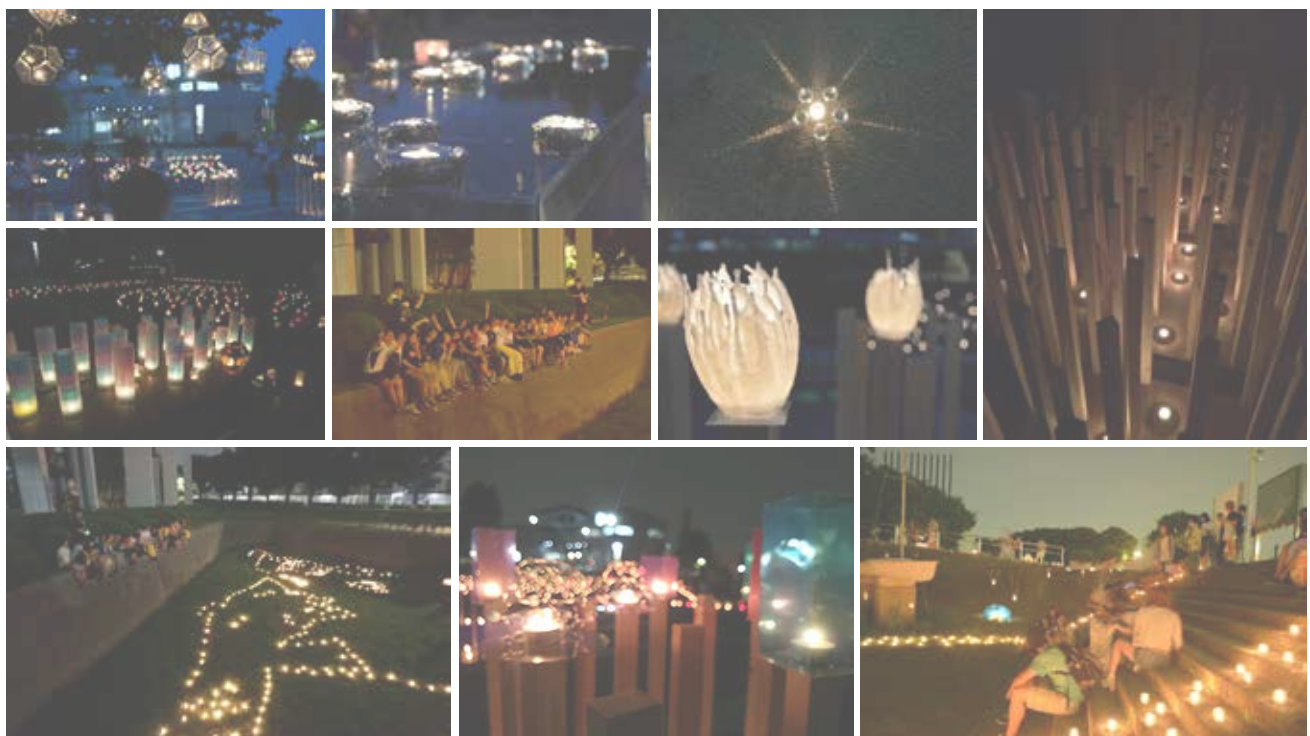
■作業風景



■当日準備風景



■当日風景





2. candle night@ageo2014

■実施日時:2014年8月9日(金) 19:30~21:00

■実施場所:埼玉県上尾市原市団地内

■テーマ:宇宙(そら)

■目的

地域とのつながりを生み出すことで、より多くの人々、様々な種類の人々に活動を知って頂く。

<インストール>

■目的

空間演出を通じて、団地の皆様にスローな夜を楽しんでいただく。

■イベント当日の状況

今回も前回同様、雨が降ってしまった。

しかし、幸いなことにイベント開始直前に止んだため、30分の遅れで済んだ。

今回の作品は、前回の作品をブラッシュアップしたものを使用した。

瓶による作品が多く、片付けの際に瓶が重なる音が騒音になり得ると感じた。

そのため、次回以降の団地で使用する作品では、片付けの際に出てしまう音やゴミなどへの考慮を怠らないよう気をつけたい。

とはいうものの、イベント自体は大成功であった。

多くの団地の方々に参加していただき、今までのイベントでは見られなかった“滞在”して下さる方が多く見受けられた。

これは、佐久山教授をはじめとした研究室の皆様、及び、コーヒー研・ギターアンサブルの皆様のご協力の賜物であったと感じている。

今年の活動目標である“大学内外との一体化”に大きく近づく candle night にとって、機転となるイベントになった。

<ワークショップ>

■目的

団地の皆様と共に一つの作品を作り上げることで、candle nightをより近くに感じて頂く。

■イベント当日の状況

色のついたクリアファイルを切り出したものに、来て頂いた方々に一人ずつメッセージを書いてもらい、それをゴミとして捨てられる前のペットボトルに巻き、シャッターに張っていった。完成すると、モザイク絵の地球が浮かび上がる。

多くの方々に参加して頂き、完成することができた。



■当日の準備風景



■当日風景

(インスタレーション)



(ワークショップ)



(珈琲研・ギターアンサンブルとの協力)





3. 上尾市原市団地納涼祭

■実施日時:2014年8月9日(金) 19:30~21:00

■実施場所:埼玉県上尾市原市団地内

■目的

地域とのつながりを生み出すことで、より多くの人々、様々な種類の人々に活動を知って頂く。

<インスタレーション>

■目的

空間演出を通じて、団地の皆様にスローな夜を楽しんでいただく。

■イベント当日の状況

元々、行う予定ではなかったインスタレーションだが、前回のcandle nightに参加して頂いた方々から多くの好評の声を頂き、自治体の方からもぜひやって頂きたいとお声をかけて下さったため、急遽空いていたスペースでのインスタレーションを行った。

今までの大きなスペースでの空間演出とは違い、キャンドルに囲まれた、火の温もりを肌で感じることができるインスタレーションになった。

前回のインスタレーションとは違い、子連れの夫婦が多く、今回と前回の二つの原市団地でのイベントを通して若い世代からお年を召した方まで幅広い世代にcandle nightの活動を知って頂いた。

<キャンドル販売>

■目的

お家でのスローな夜のお手伝い。

■イベント当日の状況

我々が作成したキャンドルを販売することで、得た資金を次回の原市団地の資金にすることを目的とする。小学生を中心とした多くの方々が興味を持ってくださり、約60個のキャンドルを販売することができた。

■当日風景

手作りキャンドル販売1



手作りキャンドル販売2



インスタレーション





今後の活動計画、目標、意気込みなど

今後の活動計画

10月	……	ワークショップ@芝浦キャンパス
11	……	candle night@芝浦キャンパス
12	……	candle night@atre川崎
1	……	—
2	……	—
3	……	青ヶ島project
4	……	青ヶ島project

今後の目標・意気込み

今年は、学生プロジェクトcandle nightの立ち上げメンバーの卒業や1年生の大量加入により、活動方針がぶれてしまう恐れがあったため、メンバー一同、candle nightとはどんな活動なのか、今向いている方向は正しいのかをもう一度考え直す年となった。

今までの活動の二大イベントでもあるatre川崎での商業的なイベントだけでなく、春休みに行う“青ヶ島project”のような我々の根本である省エネやエコについて多くの人々に確実に伝えていけるイベントにも力を入れていきたい。

インスタレーションである空間演出は、あくまでも火の良さを通じて、来てくださった方々に省エネやエコに対してもう一度考えて頂く機会を与える“手段”であり、この空間演出が“目的”になってはいけない。

そのため、今後もワークショップ(キャンドル教室)やチャリティーなどの活動を大切にしていく。

今年の目標である、『大学内外との一体化』を中心に半年活動を行ってきた。

今までの、大学周辺の方々を対象とした大宮校舎内でのcandle nightだけではなく、上尾市原市団地での地域の方々を対象とした活動を行い、学生を中心とした若い世代だけでなく、より幅広い世代にcandle nightの活動を知って頂くことができた。

来期は、現在の活動コンセプトフロー(p.1参照)を見直し、より確実にお家での“でんきを消してスローな夜”を実現できるように、イベントを家の周辺で行い、“でんきを消してスローな夜”を習慣にして頂けるような取り組みを青ヶ島projectを中心に行いたいと考えている。